

菅原 憲一（大学院保健福祉学研究科兼務）

2 学術論文

- 1) Effect of electrical stimulation of antagonist muscles for voluntary motor drive. Sugawara K, Tanabe S, Suzuki T, Higashi T. Somatosens Mot Res. 36(2) 109 - 115 2019年6月
- 2) Ryuichi Tanioka, Yoshihiro Kai, Kenichi Sugawara, Kyoko Osaka, Tetsuya Tanioka, Kensaku Takase, Rozzano Locsin, Proposing an Automatic Evaluation Method of Shoulder Joint ROM during Calisthenics Exercises of Older Adults as Adjunct to the Radio Exercise Program of Pepper, Proceedings of 2020 IEEE/SICE International Symposium on System Integration, PP.784-789, 2020
- 3) Yoshihiro Kai, Keisuke Ikeda, Atsushi Kaneta, Tsubasa Kaneda, Kenichi Sugawara, Masayoshi Tomizuka, Tetsuya Tanioka, Kensaku Takase, Design of a New Compact Velocity-Based Mechanical Safety Device for a Knee Joint Assist Suit, Proceedings of the 2020 IEEE/SICE International Symposium on System Integration, PP.628-633, 2020.
- 4) Neurophysiological Analysis of Intermanual Transfer in Motor Learning. Ryuji Oosawa, Risa Iwasaki, Tomotaka Suzuki, Shigeo Tanabe, Kenichi Sugawara Front Hum Neurosci 18(13) 109 - 115 2019.
- 5) 土田将之, 安井崇人, 鈴木智高, 黒澤千尋, 杉山将史, 大滝脩介, 山口蔵人, 甲斐 義弘, 菅原憲一, 定速型および変速型トレッドミル歩行における歩行不安定性の比較—最大リアプノフ指数を用いたカオス解析による評価—, 理学療法科学, 35(5) PP.607 - 613, 2019.
- 6) 浅井直樹, 鈴木智高, 菅原憲一, 運動課題の姿勢の安定性に関わる難度の差異とその学習に伴う脊髄運動神経興奮性の変化. 理学療法科学, 34 (6) PP. 793-800, 2019.
- 7) Yoshihiro Kai, Keisuke Ikeda, Tsubasa Kaneda, Kenichi Sugawara, Masayoshi Tomizuka, DEVELOPMENT OF A COMPACT VELOCITY-BASED MECHANICAL SAFETY DEVICE FOR AN ELBOW JOINT ASSIST SUIT, Proceedings of the ASME 2019 Dynamic Systems and Control Conference, PP.1-8, 2019.
- 8) 金田 翼, 甲斐 義弘, 杉山 将史, 菅原 憲一, 富塚 誠義, 速度に基づくメカニカル安全装置を搭載した膝関節用アシストスーツの開発(安全装置の過渡応答解析および実験), 日本機械学会論文集 85(876), PP. 1 - 14, 2019.
- 9) Kenichi Uchida, Hiroyuki Hashidate, Kenichi Sugawara, Tomoe Nakata, Chihiro Kurosawa, Yukiyo Minamimura et al. Unsupervised low-intensity home exercises as an effective intervention for improving physical activity and physical capacity in the community-dwelling elderly, Journal of Physical Therapy Science, 32(3), 215-222, 2020.

4 学会等での活動

- 1) 神奈川県理学療法士回基礎理学療法領域講習会講演『運動学習と運動制御—中枢神経疾患に関わる病態運動生理学を中心に—』第1回 令和元年7月27日
- 2) 神奈川県理学療法士回基礎理学療法領域講習会講演『運動学習と運動制御—中枢神経疾患に関わる病態運動生理学を中心に—』第2回 令和元年8月31日
- 3) 山梨県理学療法士会 学術研修会講師『運動学習を基礎と臨床から考える. —パフォーマンス向上に関わる運動制御的メカニズム—』令和元年11月17日
- 4) 末梢電気刺激と随意運動を併用した際の運動学習効果の検証
平賀篤、土屋順子、田辺茂雄、鈴木智高、菅原憲一 第24回日本基礎理学療法学会学術大会日時：2019年11月30日（土）新潟県新潟市（朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター）
- 5) 甲斐 義弘、金田篤、池田啓祐、金田翼、菅原憲一、富塚誠義、谷岡哲也、高瀬憲作、メカニカル安全装置を有する肘関節アシストスーツ（重力補償制御を用いた肘関節リハビリテーションの提案）、日本再生医療とリハビリテーション学会学術大会,2019.
- 6) Ryuichi Tanioka, Yoshihiro Kai, Sugawara Kenichi, Kensaku Takase, Hirokazu Ito, Tetsuya Tanioka, Masahito Tomotake, Compensatory Movement of the Upper Limb Joints Range of Motion of Older Adults with Chronic Conditions (Dementia or Schizophrenia) during Radio Calisthenics Exercises using Pepper robot, Synergizing Partnerships in Advancing Research, knowledge, and Service (SPARKS) International Conference, 2019.
- 7) 池田 啓祐、金田 翼、金田 篤、甲斐 義弘、菅原 憲一、富塚 誠義、谷岡 哲也、高瀬 憲作、速度ベースメカニカル安全装置を搭載した膝関節用アシストスーツの開発（制御方法の検討）、第25回IFTToMM会議シンポジウム, 2019.
- 8) 金田 翼、金田 篤、池田 啓祐、甲斐 義弘、菅原 憲一、富塚 誠義、谷岡 哲也、高瀬 憲作、コンパクトな速度ベースメカニカル安全装置を搭載した肘関節用アシストスーツの設計、第25回IFTToMM会議シンポジウム, 2019.
- 9) Takahito Yasui, Yoshihiro Kai, Masahito Sugiyama, Shusuke Otaki, Kurodo Yamaguchi, Masayuki Tsuchida, Shunya Hikichi, Tomotaka Suzuki, Kunitsugu Kondo, Kenichi Sugawara, Influence of Different Speed Patterns of the Treadmill on Corticospinal Excitability, 13th International Society of Physical and Rehabilitation Medicine World Congress (ISPRM 2019),2019.
- 10) 筋弛緩制御に関わる運動プログラムの特異性. 竹中悠真, 小久江智耶, 岡野将也, 鈴木智高、菅原憲一 第24回日本基礎理学療法学会学術大会日時：2019年11月30日（土）新潟県新潟市（朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター）
- 11) 運動準備状態の相違が皮質脊髄路の興奮性に及ぼす影響. 小久江智耶, 竹中悠真, 岡野将也, 鈴木智高、菅原憲一. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会日時：2019年11月30日（土）新潟県新潟市（朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター）
- 12) 補足運動野への経頭蓋磁気刺激が予測的姿勢制御へ与える影響. 久保大輔, 高木武蔵, 高橋真須美, 鈴木智高、菅原憲一. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会日時：2019年11月30日（土）新潟県新潟市（朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター）

- 13) 運動学習過程における姿勢性難易度特性が及ぼす脊髄運動神経興奮性の位相特異的制御動態への影響. 浅井直樹, 菅原憲一. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会日時: 2019年12月1日(日)新潟県新潟市(朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター)
- 14) 体幹肢位の変化に伴う後脛骨筋の興奮性の変化の電気生理学的検討. 高木武蔵, 久保大輔, 鈴木智高, 菅原憲一. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会日時: 2019年12月1日(日)新潟県新潟市(朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター)
- 15) 下肢の同期タッピング課題における運動位相のち外が提示音消失後のリズム保持能力に与える影響. 沼田純希, 寺尾安生, 尾張望美, 柿崎千穂, 菅原憲一, 宇川義一, 古林俊晃. 第24回日本基礎理学療法学会学術大会日時: 2019年12月1日(日)新潟県新潟市(朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター)

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本基礎理学療法学会 理事
- 2) 三浦市障害者介護給付等の支給に関わる審査委員
- 3) 日本基礎理学療法学会学術大会 演題査読委員
- 4) 『理学療法学』 編集委員
- 5) 『理学療法学』 論文査読

6 学内教育活動

- 1) 基礎運動療法学における視聴覚教材作成、運動療法各種手技に関する演習指導の開発
- 2) 電気生理診断特論における視聴覚教材および実習指導教材作成、実験結果発表指導
- 3) 大学院博士前期課程『運動機能制御学特論および特論演習』における実験方法論および講義視覚教材作成
- 4) 大学院博士後期課程『リハビリテーション病態解析学特論および特論演習』における実験指導
- 5) 大学院修士博士前期課程院生 (M1; 2名, M2; 3名) の指導教員
- 6) 大学院博士後期課程院生 2名 (D2: 2名, D3: 2名) の指導教員
- 7) 博士論文指導:

7 学内各種委員会活動

- 1) 研究科運営会議 委員長
- 2) 総務企画委員会 委員
- 3) 全学入試委員会 委員
- 4) 自己評価審査会 委員
- 5) COI委員会 委員

8 社会貢献

- 1) 日本赤十字社神奈川県支部 評議員
- 2) 東海大学健康科学部社会福祉学科非常勤講師 「リハビリテーション論」

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 平成 29 年度～平成 31 年度科学研究費助成（基盤研究 C）研究代表者

隆島 研吾 (大学院保健福祉学研究科兼務)

2 学術論文

- 1) 隆島研吾:「ADL・IADL の概念と捉え方」、PT ジャーナル 53 (8):767-774. 2019
- 2) 隆島研吾:先輩理学療法士からのアドバイス 「継往開来」・「原点回帰」、理学療法一技術と研究一 VOL48 pp37-40 2020.
- 3) 尼子雅美、隆島研吾、高木峰子、島津尚子:日常生活動作における在宅脳卒中者の短下肢装具の役割の検討ー装具使用者と理学療法士の認識の以外に着目した比較一、日本義肢装具学会誌 VOL35(2) pp128-135 2019.
- 4) 石川秀太、隆島研吾他:進行および末期消化器がん患者におけるリハビリテーションの有用性ーがん疾患特異的 Quality of Life 評価法を用いた前向き観察研究一、理学療法一技術と研究一 VOL48 pp53-60 2020.
- 5) 下田栄次、隆島研吾他:災害理学療法と災害リハビリテーション支援に関する理学療法士の意識調査、理学療法一技術と研究一 VOL48 pp61-69 2020.

4 学会等での活動

- 1) 隆島研吾:第7回日本運動器理学療法学会 一般演題「股関節」座長:令和元年 10月5・6日 岡山コンベンションセンター
- 2) 隆島研吾:第6回日本地域理学療法学会 特別講演 I 司会 「介護保険制度の施行状況と地域包括ケアにおけるリハビリテーション専門職の役割と期待」 講師:長江翔平、厚生労働省老健局老人保健課技官) 令和元年 12月14・15日 京都テルサ
- 3) 隆島研吾:第6回日本地域理学療法学会開会式において 学会ステートメント「地域理学療法学の定義」発表(代表運営幹事として) 令和元年 12月14・15日 京都テルサ
- 4) 米山愛里、隆島研吾:「好酸球性多発血管炎肉芽腫症による神経症状を呈した高齢女性の自宅における屋内自立歩行獲得に向けた介入～入院から退院後の段階的でスムーズな介入によりトイレ動作自立に至った症例～」:第6回日本地域理学療法学会 令和元年 12月14・15日 京都テルサ
- 5) 堀越一孝、隆島研吾、高木峰子、島津尚子:「運動機能が高い短時間型通所リハビリテーション利用者の活動の広さの違いに関連する因子の検討」 令和元年 12月14・15日 京都テルサ
- 6) 尼子雅美、隆島研吾:「在宅脳卒中者における下肢装具の着脱自立度について」 令和元年 12月14・15日 京都テルサ
- 7) 隆島研吾:公益社団法人神奈川県理学療法士会新人オリエンテーション時後援会 講師「ブロックと組織運営」 平成31年4月21日 県立保健福祉大学
- 8) 隆島研吾:第10回ヒューマンサービス研究会 基調講演司会 「ネット依存/ゲーム障害と治療の最新知見ー横須賀から世界医学 ICD11 が変わるー」講師 樋口 進(久里浜医療センター院長) 令和2年1月31日 県立保健福祉大学
- 9) 隆島研吾:第37回神奈川県理学療法士学会 一般演題 「地域環境支援系」座長 令

和 2 年 3 月 15 日 パシフィコ横浜（紙上発表）

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 副会長
- 2) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 表彰審査委員会 担当理事
- 3) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 支部化検討特別委員会 委員長
- 4) 公益社団法人日本理学療法士協会 日本地域理学療法学会 代表運営幹事
- 5) 公益社団法人日本理学療法士協会 理学療法士労働環境委員会 委員長（常設委員会）
- 6) 公益社団法人日本理学療法士協会 大学院あり方委員会 委員
- 7) 神奈川県リハビリテーション研究会 監事
- 8) 神奈川県介護支援専門員実務研修 指導者
- 9) 川崎市障害程度区分認定審査会 委員
- 10) 川崎市地域リハビリテーションコーディネーター
- 11) 川崎市福祉サービス第 3 者評価事業推進委員会委員
- 12) 川崎市施設整備事業選定委員会 委員
- 13) 川崎市指定管理施設評価委員会 委員
- 14) 公益財団法人日本訪問看護財団 研究倫理審査委員会 委員
- 15) 三浦市地域ケア連携会議 委員（学識経験者）
- 16) 三浦市地域包括支援センター運営懇談会 委員（学識経験者）
- 17) 三浦市障害者福祉計画推進懇談会 座長（学識経験者）
- 18) 三浦市自立支援協議会 座長（学識経験者）

6 学内教育活動

- 1) 大学院）保健福祉学研究科教授 M2 指導 1 名、修士判定主査 1 名、副査 1 名
- 2) 大学院）保健医療福祉論演習教材作成および演習授業
- 3) 大学院）地域理学療法学特論及び同演習における視聴覚教材作成
- 4) 学部）日常生活活動学および同演習における視聴覚教材作成
- 5) 学部）筋・骨格系運動療法学演習における視聴覚教材作成
- 6) 学部）地域理学療法学および同演習における視聴覚教材作成
- 7) 学部）平成 31 年度オープンキャンパス個別相談
- 8) 学部）平成 31 年度オープンキャンパス専攻説明会
- 9) 学部）卒業研究指導 4 年生 3 名、3 年生 2 名
- 10) 学部）指定規則改訂・実習ワーキング委員
- 11) 学部）入試面接官

7 学内各種委員会活動

- 1) 教務委員会委員長
- 2) ヒューマンサービス研究会 世話人
- 3) リハビリテーション学科人事小委員会委員

8 社会貢献

- 1) 知的障害者施設綾瀬ホーム 相談員
- 2) 平成 31 年度 横須賀市リハビリテーション専門職派遣事業連絡会 講師
2019.6.15
- 3) 川崎市看護協会訪問看護師養成研修 講師 2019.6.20、2019.10.17 川崎市看護協会会館
- 4) 神奈川県立よこはま看護専門学校 講義「リハビリテーション医学」 2019.10.15
県立よこはま看護専門学校
- 5) 令和元年度川崎市地域包括支援センター現任職員研修「多職種協働による多角的なアセスメント視点について」 講師 2019.2.5 川崎市高津市民会館

米津 亮（大学院保健福祉学研究科兼務）

2 学術論文

- 1) 米津 亮, 鈴木淳也, 齋藤 聡佳, 山縣 学, 成澤 雅紀, 神尾 昭宏, 藤田 暢一, 田邊 憲二, 藤本 康浩, 大東 哲也, 宮谷 定行, 淵岡 聡, 清水 順市. 蹴り出しを改善する短下肢装具足底部の開発—脳卒中片麻痺者に対する装着効果について— 日本義肢装具学会誌 (2019年8月23日受理)
- 2) Kimoto M, Yonetsu R, Okada K, Horika W, Kondou T, Sasaki M. Effect of home-based training focused on increasing maximum step length in walking function of children with cerebral palsy. *Physical Therapy Reviews* 24(6). 358-365. 2019
- 3) Shimizu J, Yoshioka M, Yonetsu R, Nakao H, Kizaki H. Development of a new grip of a long cane for visually impaired children, *British Journal of Occupational Therapy*. 82(8), 522～526, 2019.

4 学会等での活動

- 1) Yonetsu R, Yoshimura M, Uemura S, Tanaka N, Shimozono K, Nishizaka Y, Fujii M. Effect of monotone figure and ground reversal target on throwing performance in individuals with cerebral palsy. WCPT Congress (2019年5月11日)
- 2) 米津 亮, 鈴木淳也, 山縣 学, 齋藤聡佳, 成澤雅紀, 他. 脳卒中片麻痺者における蹴り出し推進型短下肢装具装着時の歩行動作中の運動学的特徴 第35回日本義肢装具士協会学術大会 (2019年7月13日)
- 3) 米津 亮, 鈴木淳也, 齋藤聡佳, 山縣 学, 成澤 雅紀, 神尾 昭宏, 藤田 暢一, 田邊 憲二, 高橋 幸治, 島 恵, 藤井 崇典, 藤本 康浩, 大東 哲也, 宮谷 定行, 淵岡 聡. 蹴り出しを改善できる短下肢装具の開発に向けて—足底部の構造改良を加えた短下肢装具の適応症例に関する予備研究—. 第17回日本神経理学療法学会学術集会 (2019年9月28日)
- 4) Yonetsu R, Suzuki J, Saito A, Yamagata M, Fuchioka S. Comparison of ankle-foot orthosis with stiff and flexible footplates to improve push off in a child with cerebral palsy. ISPO 17th World Congress (2019年10月5日)
- 5) Kinugasa T, Narisawa M, Yamagata M, Saito A, Suzuki J, Inoue H, Yonetsu R. Evaluation of mechanical behavior of fiber fabrics with soft matrix by bending recovery test. 10th International conference on High Temperature Ceramic Matrix Composites (2019年9月23日)
- 6) Narisawa M, Kinugasa T, Yamagata M, Saito A, Suzuki J, Inoue H, Yonetsu R. Evaluation of Mechanical Property of Fiber Reinforced Plastics with Extremely Soft Matrix (Soft FRP) from the Perspective of Rehabilitation. Materials Research Meeting 2019. (2019年10月13日)

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) A-STEP 機能検証フェーズ 専門委員（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）

6 学内教育活動

- 1) 1 年次必修科目「理学療法学概論」における視聴覚教材の作成
- 2) 1 年次必修科目「保健医療福祉論」における視聴覚教材の作成
- 3) 1 年次必修科目「理学療法学概論演習」における視聴覚教材の作成
- 4) 1 年次必修科目「運動学 I」における視聴覚教材の作成
- 5) 1 年次必修科目「機能障害診断学総論」における視聴覚教材の作成
- 6) 3 年次必修科目「小児中枢神経系理学療法学」における視聴覚教材の作成
- 7) 4 年次必修科目「卒業研究」における指導（2 名）
- 8) 大学院「運動機能障害理学療法学特論」における講義視聴覚教材作成
- 9) 令和元年度オープンキャンパス個別相談
- 10) 理学療法学専攻 評価学実習・総合臨床実習 I・総合臨床実習 II 実習要綱作成
- 11) 理学療法学専攻 FD「診療参加型臨床実習の展開」（講師：茨城県立医療大学：大橋 ゆかり先生）企画（令和元年 11 月 21 日）

7 学内各種委員会活動

- 1) 大学院研究科入試委員 委員（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）
- 2) 研究科運営委員会 委員および自己評価委員（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）
- 3) 地域貢献研究センター研究支援部門 部門長（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）
- 4) 地域貢献研究センター研究支援部門 科研費調書作成のための若手研修会 講師（令和元年 7 月 1 日～令和元年 11 月 10 日）
- 5) 神奈川県立保健福祉大学誌 投稿論文 査読（1 編）

8 社会貢献

- 1) 地域に在住の高齢者の体力測定会 計測参加（令和元年 10 月 26 日）
- 2) 脳性麻痺者の車椅子陸上スポーツ指導（令和元年 8 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）

9 講演，放送

- 1) 第 3 回 横須賀市研究者交流会 講師「より歩きやすい短下肢装具の開発研究」（令和元年 7 月 31 日）

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 研究代表者：米津 亮

研究課題名：蹴り出し推進型短下肢装具の開発～歩行特性を再現する加工技術の確立～
補助金名：科学技術振興機構平成 30 年度研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）産学共同フェーズ シーズ育成タイプ

交付金額：2,500 千円（令和元年度）

研究期間：2018 年 10 月 1 日-2022 年 3 月 31 日（2 年半）

2) 研究代表者：米津 亮

研究課題名：蹴り出しを改善できる足関節制御機能付き短下肢装具用ソールの開発

補助金名：日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究（B）

交付金額：3,600 千円（令和元年度）

研究期間：2018 年 4 月 1 日-2022 年 3 月 31 日（4 年間）

3) 研究分担者：米津 亮（研究代表者：清水順市）

研究課題名：児童用白杖グリップの開発と児童用白杖導入マニュアルの作成

補助金名：日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究（C）

研究期間：2018 年 4 月 1 日-2021 年 3 月 31 日（3 年間）

4) 研究分担者：米津 亮（研究代表者：大島憲子）

研究課題名：行動・心理症状（BPSD）に対する症候対応型認知症ケア技術の開発

補助金名：日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究（C）

研究期間：2019 年 4 月 1 日-2022 年 3 月 31 日（3 年間）

13 特許など

- 1) 短下肢装具 特許取得（特許番号 第 6598246 号）（令和元年 10 月 11 日）

14 その他

- 1) 大阪府立大学地域保健学域総合リハビリテーション系理学療法学専攻 非常勤講師「発達理学療法学 I」（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）
- 2) 広島大学医学部保健学科理学療法学専攻 客員教授「小児機能診断学特論」「小児神経系理学療法学」（平成 31 年～令和 2 年 3 月 31 日）
- 3) 東京家政大学リハビリテーション学科理学療法学専攻 非常勤講師「発達と理学療法」（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）
- 4) 大阪府立大学大学院総合リハビリテーション学研究所 客員研究員（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）
- 5) 保健医療学雑誌 投稿論文 査読（1 編）

内田 賢一（大学院保健福祉学研究科兼務）

2 学術論文

- 1) 内田賢一: 地域在住高齢者の身体活動量に対する非監視下低強度ホームエクササイズ
の介入効果. 博士（保健学）学位論文. 杏林大学, 2020.
- 2) Kenichi Uchida, Hiroyuki Hashidate, Kenichi Sugawara, Tomoe Nakata, Chihiro
Kurosawa, Yukiyo Minamimura, Yuko Matsuo, Mitsunobu Yatsunami:
Unsupervised low-intensity home exercises as an effective intervention for
improving physical activity and physical capacity in the community-dwelling
elderly. J Phys Ther Sci 32(3): 215-222, 2020.

4 学会等での活動

- 1) 熊澤照幸、川寄康太、田中亨典、島田真衣、笠井大輝、滝田郁、東風平亜希、三枝
三和、内田賢一：回復期リハ病棟でのウエルウォーク使用経験-円滑な病棟歩行練習
の導入に向けた取り組み-. リハビリテーション・ケア合同研究大会.
2019. 2019. 11. 21. (金沢)

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人日本理学療法士協会 組織運営協議会委員
- 2) 公益社団法人日本理学療法士協会関東甲信越ブロック協議会 生涯学習担当
- 3) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 理事
- 4) 第6回日本呼吸理学療法学会学術大会 演題査読委員
- 5) 第8回日本理学療法教育学会学術大会 演題査読委員

6 学内教育活動

- 1) VPI 職業興味検査を用いた理学療法士キャリア教育
- 2) 学部) 生活環境学 講義および視聴覚教材作成
- 3) 学部) 筋・骨格系運動療法学 講義および視聴覚教材作成
- 4) 学部) 内部疾患系運動療法学 講義および視聴覚教材作成
- 5) 学部) 筋・骨格系運動療法学演習 講義および視聴覚教材作成
- 6) 学部) 理学療法管理学 講義および視聴覚教材作成
- 7) 学部) スポーツ理学療法学特論 講義および視聴覚教材作成
- 8) 学部) 卒業研究指導 (3名)
- 9) 学部) 4年生 学年担任 (22名)
- 10) 大学院) 運動機能障害理学療法学特論 講義および視聴覚教材作成
- 11) 大学院) 運動機能障害理学療法学特論演習 研究課題指導
- 12) 大学院) 博士前期課程 特別研究論文(修士) M2 指導 1名
- 13) 大学院) 博士前期課程 修士判定主査 2名 副査 1名

7 学内各種委員会活動

- 1) FD・SD 委員会 委員
- 2) 研究助成専門部会 委員
- 3) 大学院 入試作問・採点・面接委員

8 社会貢献

- 1) よこすかモアーズシティ バリアフリー構造調査協力 2019.10.1～2020.3.31
- 2) 横浜薬科大学薬学部臨床薬学科 「リハビリテーション概論」非常勤講師 2019.10.1～2020.3.31.
- 3) 鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院 臨床アドバイザー 2019.4.1～2020.3.31
- 4) (公社)神奈川県理学療法士会 第3回新人教育プログラム研修会「内部障害の理学療法」講師 2019.12.1 (横須賀)
- 5) 健康体操教室参加者への運動指導 2019.4.1～2020.3.31 (横須賀)

14 その他

- 1) オープンキャンパス 入試相談
- 2) 推薦入試 面接官
- 3) 大学入試センター試験 試験監督
- 4) 一般入試前期試験 面接官
- 5) サークル「釣り部」顧問 2019.4.1～2020.3.31
- 6) サークル「音楽サークル」顧問 2019.4.1～2020.3.31
- 7) サークル「音楽部」顧問 2019.4.1～2020.3.31
- 8) 令和元年度 新入生チューター

島津 尚子（大学院保健福祉学研究科兼務）

2 学術論文

- 1) 石川秀太,衣田翔,小森春菜,平野克治,隆島研吾,島津尚子. 進行および末期消化器がん患者におけるリハビリテーションの有用性—がん疾患特異的 Quality of Life 評価法を用いた前向き観察研究—*. 理学療法—技術と研究—,2020,48,53-60.

4 学会等での活動

- 1) 島津尚子,黒澤千尋,山本澄子. 片麻痺者における Step 動作の荷重移動の特徴. 第 17 回日本神経理学療法学会学術大会. 2019.9.27
- 2) 第 17 回日本神経理学療法学会学術大会 一般演題座長 2019.9.28
- 3) 堀越一孝,高木峰子,島津尚子,鷹島研吾. 運動機能が高い短時間型通所リハビリテーション利用者の活動の広さの違いに関連する因子の検討. 第 6 回日本地域理学療法学会学術大会. 2019.12.15

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会学術局学術編集部査読係係長 2019.4～2020.3
- 2) 公益社団法人神奈川県理学療法士会学術局新人教育部部員 2019.4～2020.3
- 3) 公益社団法人神奈川県理学療法士会学術局研究支援部研究助成制度審査員 2019.4～2020.3
- 4) 第 17 回日本神経理学療法学会学術大会準備委員 演題担当 2019.4～2020.3
- 5) 一般社団法人日本義肢装具学会研修委員 2019.4～2020.3
- 6) 神奈川リハビリテーション研究会幹事 2019.4～2020.3
- 7) 神奈川ボバース研究会 2019.4～2020.3

6 学内教育活動

- 1) 成人中枢神経系運動療法学における視聴覚教材作成
- 2) 中枢神経系運動療法学演習における視聴覚教材作成
- 3) 義肢装具学における視聴覚教材作成
- 4) 義肢装具学演習における視聴覚教材作成
- 5) 筋・骨格系運動療法学演習における視聴覚教材作成
- 6) 中枢神経疾患アプローチ特論における視聴覚教材作成
- 7) 感覚運動アプローチ論における視聴覚教材作成
- 8) 理学療法学研究法演習 研究指導 3 名
- 9) 理学療法卒業研究 研究指導 3 名
- 10) 理学療法士国家試験対策 ショートレクチャー（義肢装具学・中枢神経系）担当
- 11) 評価学実習, 総合臨床実習 I・II における現場訪問等
- 12) 大学院「地域理学療法学特論」における視聴覚教材作成
- 13) 博士前期課程 指導補助教員（2 名）

7 学内各種委員会活動

- 1) 入試委員会 2019.4.1～2020.3.31
- 2) オープンキャンパス運営 2019.8.10,11
- 3) リハビリテーション学科ミニオープンキャンパス企画・運営 2019.4～2020.3

8 社会貢献

- 1) 大学合同説明会における進学相談 2019.7
- 2) オープンキャンパスにおける個別進学相談 2019.8.10,11
- 3) オープンキャンパスにおける模擬授業 2019.8.10
- 4) 神奈川県立生田高校模擬授業 2019.7

9 講演，放送

- 1) 神奈川県理学療法士会研修会 第一回新人教育プログラム講師「リスクマネジメント（安全管理と感染予防を含む）」2019.7

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 研究代表者：米津 亮（分担者 島津尚子）
研究課題名：蹴り出しを改善できる足関節制御機能付き短下肢装具用ソールの開発
補助金名：日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究（B）
（平成 29 年度～平成 32 年度）

14 その他

- 1) 横浜市立脳卒中・神経脊椎センター非常勤職員 2019.4～2020.3

鈴木 智高（大学院保健福祉学研究科兼務）

2 学術論文

- 1) Oosawa R, Iwasaki R, Suzuki T, Tanabe S, Sugawara K. Neurophysiological analysis of intermanual transfer in motor learning. *Front Hum Neurosci* 2019; 13
- 2) Sugawara K, Tanabe S, Suzuki T, Higashi T. Effect of electrical stimulation of antagonist muscles for voluntary motor drive. *Somatosens Mot Res* 2019; 36(2): 109-115
- 3) 土田将之, 他. (2019). 定速型および変速型トレッドミル歩行における歩行不安定性の比較 最大リアプノフ指数を用いたカオス解析による評価, *理学療法科学*; 34(5): 607-613
- 4) 浅井直樹, 他. (2019). 運動課題の姿勢の安定性に関わる難度の差異とその学習に伴う脊髄運動神経興奮性の変化, *理学療法科学*; 34(6): 793-800

4 学会等での活動

- 1) 竹中悠真, 他. (2019). 筋弛緩制御に関わる運動プログラムの特異性, 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 2019.11.30.
- 2) 小久江智耶, 他. (2019). 運動準備状態の相違が皮質脊髄路の興奮性に及ぼす影響, 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 2019.11.30
- 3) 平賀篤, 他. (2019). 末梢電気刺激と随意運動を併用した際の運動学習効果の検証, 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 2019.11.30
- 4) 久保大輔, 他. (2019). 補足運動野への経頭蓋磁気刺激が予測的姿勢制御へ与える影響, 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 2019.11.30
- 5) 高木武蔵, 他. (2019). 体幹肢位の変化に伴う後脛骨筋の興奮性の変化の電気生理学的検討, 第24回日本基礎理学療法学会学術大会, 2019.12.1

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人 神奈川県理学療法士会 新人教育部部員. 通年

6 学内教育活動

- 1) 筋・骨格系機能障害診断学. 2019.4～2019.9
- 2) 電気生理診断特論. 2019.4～2019.7
- 3) 運動学演習. 2019.4～2019.9
- 4) 動作解析学. 2019.4～2019.9
- 5) 運動機能制御学特論. 2019.6～2019.7
- 6) 卒業研究法 学生2名指導. 2019.4～2019.11
- 7) 運動学Ⅱ. 2019.10～2020.3
- 8) 筋・骨格系運動療法学. 2019.10～2020.3
- 9) 臨床運動学. 2019.10～2020.3

- 10) 理学療法学研究法演習 学生 2 名指導. 2019.10～2020.3
- 11) 運動機能制御学特論演習. 2019.10～2020.3
- 12) 理学療法士国家試験対策ショートレクチャー. 2020.1.7
- 13) 評価学実習・総合臨床実習 I・II. 2019.4～2020.3
- 14) 博士前期課程 院生 4 名副指導教員. 2019.4～2020.3
- 15) 理学療法学専攻 17 期生担任

7 学内各種委員会活動

- 1) 研究倫理審査委員会, 自己評価専門部会担当. 通年
- 2) 17 期生チューター. 通年

8 社会貢献

- 1) 高大連携出張講座 平塚江南高等学校. 2019.12.5
- 2) 公益社団法人神奈川県理学療法士会横須賀三浦ブロック運営委員. 通年
- 3) みうら市民健康大学オープンキャンパス協力. 2019.10.27
- 4) 神奈川県立保健福祉大学オープンキャンパス. 2019.8.10-11
- 5) 横須賀・三浦ブロック老人クラブ連合会主催「ゆめクラブ大学」講座講師. 2019.10.23

9 講演, 放送

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会平成 31 年度第 2 回新人教育プログラム研修会講師「統計方法論」. 2019.10.6
- 2) 公益社団法人神奈川県理学療法士会第 2 回臨床実習指導者講習会講師. 2020.2.15-16

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 鈴木智高. スマートフォンアプリを用いた歩行中の注意機能評価による効果的な転倒予防戦略. 若手研究 B. 1,040 千円. 通年
- 2) 菅原憲一, 鈴木智高 (研究分担者). リズム追従運動による脳可塑性を誘導するリハビリテーションプログラムの開発. 基盤研究 C. 通年

14 その他

- 1) 湘南医療大学 非常勤講師. 通年
- 2) 医療法人徳昌会あきやま医院 非常勤職員. 通年

高木 峰子（大学院保健福祉学研究科兼務）

2 学術論文

- 1) 平賀 篤, 高木 峰子, 隆島 研吾, 鶴見 隆正: 下腿三頭筋に対するスタティックストレッチングと超音波療法の同時施行による効果の検討. 理学療法科学 (1341-1667)34 巻 4 号 Page505-510(2019.08).
- 2) 尼子 雅美, 隆島 研吾, 高木 峰子, 島津 尚子, 斎藤 祐美子: 日常生活動作における在宅脳卒中者の短下肢装具の役割の検討 装具使用者と理学療法士の認識の違いに着目した比較. 日本義肢装具学会誌 (0910-4720)35 巻 2 号 Page128-135(2019.04).

4 学会等での活動

- 1) Takagi M, Yamada T. Activation of the Motor Cortex during Surface Interferential Current Therapy for Urinary Incontinence using Functional Near-Infrared Spectroscopy. World Confederation for Physical Therapy Congress 2019. 2019.5.
- 2) 黒澤千尋, 玉垣努, 米津亮, 白濱勲二, 高木峰子, 小池友佳子. 地域在住自立高齢者における運動および認知機能の調査 (第1報). 学内研究発表会.2019.7.3
- 3) 渡邊 郁海, 高木 峰子, 平賀 篤, 尾崎 聡. 筋膜運動制限による関節可動域制限が電気刺激療法により改善が得られた1症例.第27回日本物理療法学会学術大会.2019.10.
- 4) 第27回日本物理療法学会学術大会 セレクション演題座長.2019.10.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会生涯学習部員.
- 2) 公益社団法人神奈川県理学療法士会査読委員
- 3) 一般社団法人日本物理療法学会理事.
- 4) 一般社団法人日本物理療法学会研究助成選考委員長.
- 5) 一般社団法人日本物理療法学会査読員
- 6) 第27回日本物理療法学会学術大会学術局演題担当.

6 学内教育活動

- 1) 理学療法学専攻3年次生担任業務.
- 2) 卒業研究にて学生2名担当.
- 3) 大学院博士前期課程学生指導補助2名.
- 4) OSCE (客観的臨床能力試験) ワーキンググループ
- 5) 実習手引き作成ワーキンググループ

7 学内各種委員会活動

- 1) 学生委員会
- 2) 進路支援ワーキンググループ
- 3) 時間割ワーキンググループ

8 社会貢献

- 1) 横須賀高校スーパーサイエンスハイスクール事業 5名担当.
- 2) オープンキャンパスにおける個別進学相談.
- 3) ミニオープンキャンパス模擬講義.2019.10.
- 4) よこすか海辺ニュータウン体力測定会開催.2018.10.
- 5) 第16回うみかぜ祭「骨盤底筋体操講座」開催.2019.11.

9 講演, 放送

- 1) 高木峰子. 神奈川県理学療法士会新人教育プログラム講演「協会組織と生涯学習システム」2019.7.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 高木峰子.国際研究集会出席のための補助金. 公益財団法人御器谷科学技術財団.100千円.

11 学内研究助成金の受託

- 1) 高木峰子. 骨盤底筋の随意収縮と末梢からの電気刺激が大脳皮質に与える影響ー骨盤底筋の収縮が弱い地域在住高齢者を対象としてー. 平成31年度神奈川県立保健福祉大学研究助成B(奨励研究)216千円.

14 その他

- 1) 東海大学社会福祉学科「リハビリテーション論」非常勤講師.

黒澤 千尋

2 学術論文

- 1) 土田将之,安井崇人,鈴木智高,黒澤千尋,杉山将史,大滝脩介,他. 定速型および変速型トレッドミル歩行における歩行不安定性の比較—最大リアプノフ指数を用いたカオス解析による評価—, 理学療法科学, 34 (5) , 607-613, 2019.
- 2) Kenichi Uchida, Hiroyuki Hashidate, Kenichi Sugawara, Tomoe Nakata, Chihiro Kurosawa, Yukiyo Minamimura et al. Unsupervised low-intensity home exercises as an effective intervention for improving physical activity and physical capacity in the community-dwelling elderly, Journal of Physical Therapy Science, 32(3), 215-222, 2020.

3 その他の著作

- 1) 寄稿：黒澤千尋. 2019 年度身体機能測定会のご報告, よこすか海辺ニュータウン地区社会福祉協議会広報誌「うみべ」第 10 号, 2020.

4 学会等での活動

- 1) 黒澤千尋, 玉垣努, 米津亮, 白濱勲二, 高木峰子, 小池友佳子. 地域在住自立高齢者における運動および認知機能の調査 (第 1 報). 学内研究発表会 (2019. 7. 3)

6 学内教育活動

- 1) 運動学演習：講義および計測補助 (2 年次前期)
- 2) 動作解析学：計測補助 (3 年次前期)
- 3) 解剖学実習Ⅱ引率 (2019. 10. 7)
- 4) 機能診断学総論 (1 年次後期)
- 5) 日常生活活動学演習 (2 年次後期)
- 6) 機能診断学演習 (2 年次後期)
- 7) 中枢神経系機能診断学 (2 年次後期)
- 8) OSCE 試験監督 (3 年次 ; 2020. 1. 9・21)
- 9) 生活環境学 (2 年次後期)
- 10) 国家試験対策ショートレクチャー (2019. 11. 11)
- 11) 卒業研究指導 (4 年生 2 名, 3 年生 2 名)
- 12) 臨床実習オリエンテーション (3 年次)
- 13) 国家試験対策担当 (4 年次)
- 14) 卒業研究 発表会準備, 論文集制作担当
- 15) 評価学実習, 総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ 現場訪問 (2019. 4 月～7 月, 2020 年 2 月)
- 16) 非常勤講師および外部講師 調整担当

7 学内各種委員会活動

- 1) オープンキャンパス業務（準備，当日運営）
- 2) 入試業務（推薦入試，センター試験，前期試験）
- 3) 卒業式・修了式及び入学式実行委員会

8 社会貢献

- 1) よこすか海辺ニュータウン地区社協と合同企画：高齢者運動機能測定会の開催（2019. 10. 26）
- 2) 横須賀三浦地区 PT 懇話会 事務局担当
- 3) 第 17 回日本神経理学療法学会学術大会 当日スタッフ（2019. 9. 28・29）

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 研究代表者：米津亮（分担者 黒澤千尋），蹴り出しを改善できる足関節制御機能付き短下肢装具用ソールの開発，日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究（B）（研究期間 平成 29 年度～令和 2 年度）

11 学内研究助成金の受託

- 1) 黒澤千尋，金子将也，畑中伸彦，南部篤．上肢巧緻動作の運動制御における大細胞性および小細胞性赤核の機能特性の比較 研究助成 B
- 2) 黒澤千尋，玉垣努，米津亮，白濱勲二，高木峰子，小池友佳子．地域在住自立高齢者における運動および認知機能の調査，地域貢献研究センター研究助成
- 3) 内田賢一，松尾祐子，黒澤千尋．健常高齢者の呼吸機能に対する運動介入効果に関する研究 研究助成 A

12 その他

- 1) 医療法人横浜柏堤会 よこすか浦賀病院 非常勤職員．2019. 4 月～2020. 3 月

田中 繁治

1 著書

- 1) Dianne V. Jewell. (2019) 理学療法エビデンス大辞典 現場で使える実践ガイド.
(田中亮, 田中繁治, 天野徹哉他訳. 森山英樹総監訳). 東京: 西村書店. (原著 2015)

2 学術論文

- 1) 天野徹哉, 田中繁治, 伊藤秀幸, 森川真也, 内田茂博. (2019). 人工膝関節全置換術後早期の歩行獲得に必要な膝関節筋力の標準値. 静岡理学療法ジャーナル, 39, 13-19.
- 2) Tanaka S, Inoue Y, Watanabe O, Iwata K, Kaminiwa Y, Mogi K, Tanaka R, Miura Y. (2019). Factors related to psychological distress in young and middle-aged Japanese residents in Thailand: a cross-sectional study. *Journal of Public Health and Development*, 17(3), 49-57.
- 3) Tanaka S, Amano T, Inoue Y, Tanaka R, Ito H, Morikawa S. (2020). Does body mass index influence quality-of-life recovery in individuals who underwent Total Knee Arthroplasty: a prospective study. *Journal of Orthopaedics, Trauma and Rehabilitation*, in press.
- 4) Tanaka S, Robbins MS, Inoue Y, Tanaka R. (2020). Factors associated with health-related quality of life in Japanese patients with hip osteoarthritis: a cross-sectional study. *Journal of Orthopaedics, Trauma and Rehabilitation*, in press.

4 学会等での活動

- 1) Tamari K, Amano T, Tanaka S, Ito H, Morikawa S, Inoue Y, Tanaka R. Two-week postoperative self-efficacy predicts earlier onset of successful independent walking among population undergoing knee arthroplasty. 13th International Society of Physical and Rehabilitation Medicine World Congress 2019. Kobe. June 12, 2019.
- 2) 田中繁治. タイ国在留日本人の身体的・精神的健康に関連する要因は何か? 2019 年度神奈川県立保健福祉大学研究発表会. 2019. 7. 3
- 3) 藤本貴大, 田中繁治: 高齢大腿骨骨折患者の下肢と体幹の筋断面積内にある筋組織と筋内脂肪には骨折側と非骨折側で差があるのか? 第 7 回日本運動器理学療法学会学術大会. 岡山. 2019. 10. 5

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 生涯学習部部員 通年
- 2) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 臨床実習指導者講習会 講師 通年
- 3) 内閣府 国際アジア健康構想協議会 メンバー 通年
- 4) 専門学校川崎リハビリテーション学院同窓会理事

6 学内教育活動

- 1) 地域理学療法学 講義 2019.5.10～2019.5.17
- 2) 理学療法概論 講義 2019.6.13～2019.6.27
- 3) 保健医療福祉論 講義補助 2019.7.16
- 4) 地域理学療法演習 引率 2019.10.25
- 5) 機能障害診断学総論 講義 2019.10.27～2019.12.19
- 6) 機能障害診断学演習 講義 2019.10.1～2019.11.12
- 7) 解剖学実習Ⅱ 引率 2019.11.2
- 8) 臨床実習事前オリエンテーション 2019.11.18
- 9) 理学療法士国家試験対策ショートレクチャー 2019.12.2
- 10) ヒューマンサービス総合演習 講義補助 2020.1.7
- 11) 学内 OSCE 試験監督 2020.1.9 and 1.21
- 12) 臨床実習指導者会議に関する運営担当 通年
- 13) 臨床実習運営担当 通年
- 14) 評価学実習、総合臨床実習Ⅰ・Ⅱ 臨床実習訪問指導 通年
- 15) 理学療法学研究法演習 研究指導 2名
- 16) 令和元年度オープンキャンパス

7 学内各種委員会活動

- 1) 研究委員会 委員 通年
- 2) 実習センター運営委員会 委員 通年
- 3) 理学療法学専攻実習関連ワーキンググループ 通年
- 4) 卒業式・修了式および入学式実行委員会 委員 通年
- 5) 入試業務 通年
- 6) オープンキャンパスにおける模擬講義 2019.8.10

8 社会貢献

- 1) 公益社団法人日本理学療法士協会「カンボジアにおけるリハビリテーション専門職育成支援事業」通訳スタッフ
- 2) 文部科学省官民協働留学支援制度トビタテ！留学 JAPAN トビタテ社会人会メンバー 通年
- 3) 公益社団法人神奈川県理学療法士会主催研修会 運営スタッフ 2019.8.31
- 4) 公益社団法人神奈川県理学療法士会主催研修会 運営スタッフ 2019.9.1
- 5) 公益社団法人神奈川県理学療法士会主催研修会 運営スタッフ 2019.9.8
- 6) 公益社団法人神奈川県理学療法士会主催研修会 運営スタッフ 2020.2.2

9 講演，放送

- 1) タイ国日本人会主催 医療講演会 講師 2019.7.4
- 2) 愛媛県理学療法士会主催 理学療法士講習会（応用編） 講師 2019.8.24
- 3) 広島大学スポーツ科学センター主催 健康科学リサーチセミナー 講師 2019.9.14

- 4) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 臨床実習指導者講習会 講師 2019.9.21
- 5) 宮崎県理学療法士会基礎研究部会研修会 講師 2019.11.16

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 研究分担者: 田中繁治 (研究代表者: 米津 亮)
研究課題名: 蹴り出し推進型短下肢装具の開発～歩行特性を再現する加工技術の確立～
補助金名: 科学技術振興機構平成30年度研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP)
産学共同フェーズ シーズ育成タイプ
交付金額: 2,500 千円 (令和元年度)
研究期間: 2018年10月1日-2022年3月31日 (2年半)
- 2) 研究分担者: 田中繁治 (研究代表者: 米津 亮)
研究課題名: 蹴り出しを改善できる足関節制御機能付き短下肢装具用ソールの開発
補助金名: 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B)
交付金額: 3,600 千円 (令和元年度)
研究期間: 2018年4月1日-2022年3月31日 (4年間)

11 学内研究助成金の受託

- 1) 田中繁治.膝関節疾患に対する徒手検査法の精度に関するシステムティックレビュー.
平成31年度神奈川県立保健福祉大学研究助成 B(奨励研究) 交付金額 792 千円
研究期間 2019.4～2020.3

14 その他

- 1) 神戸大学大学院保健学研究科保健学研究員
- 2) 国際誌 *Journal of Back and Musculoskeletal Rehabilitation* に投稿された原著論文の査読委員を担当
- 3) 国際誌 *Disability and Rehabilitation* に投稿された原著論文の査読委員を担当

小池 友佳子

2 学術論文

- 1) 小池友佳子, 杉澤秀博, 杉原陽子, 清水由美子: 要支援高齢者の身体活動に対するヘルスリテラシー及び社会的サポートの影響—健常高齢者との比較—. 老年学雑誌. 2020 ; 10 : 43-54.

4 学会等での活動

- 1) 黒澤千尋, 玉垣努, 米津亮, 白濱勲二, 高木峰子, 小池友佳子. 地域在住自立高齢者における運動および認知機能の調査 (第1報). 神奈川県立保健福祉大学研究発表会 2019.7.3

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 研究支援部員 通年

8 社会貢献

- 1) 逗子中部地域包括支援センター主催体力測定会運営 2019.10.28, 11.26, 2020.1.22

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 平成 29 年度科学研究費補助事業 若手研究 B 「要支援高齢者における運動習慣の促進・阻害要因の量的・質的分析」(平成 29 年～平成 31 年: 3,120 千円) 研究代表者

11 学内研究助成金の受託

- 1) 地域貢献研究センター研究助成 「地域在住自立高齢者における運動および認知機能の調査」(平成 31 年度: 259 千円) 研究代表者: 黒澤千尋 (分担者: 小池友佳子)

山岸 保則

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 環境支援部 部員 2019.4～2020.3
- 2) 公益社団法人神奈川県理学療法士会 川崎南部ブロック運営委員 2019.4～2020.3

6 学内教育活動

- 1) 保健医療福祉論 I 現場訪問 事前・事後指導 2019.7～8
- 2) 筋・骨格系機能障害診断学 試験補助 2019.8.2、8.29
- 3) 解剖学実習 II 引率 2019.9.24
- 4) 理学療法士国家試験対策ショートレクチャー 2019.11.18
- 5) 地域理学療法学演習 講義補助 2019.11.29

7 学内各種委員会活動

- 1) オープンキャンパス運営 2019.8.10、8.11

8 社会貢献

- 1) 神奈川県理学療法士会主催研修会 当日運営 2019.8.3、12.7
- 2) 川崎市 介護いきいきフェア 健康チェックブース 当日運営 2019.11.14
- 3) 川崎市 なかはら健康福祉祭り 健康チェックブース 当日運営 2019.11.17